平成２５年度

事務事業評価（最終評価）報告書

八代市

平成２６年２月

目 次

1　最終評価とは ---------- 1

2　外部評価結果と最終評価結果の状況 ---------- 2

3　行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

・スポーツ拠点づくり事業 ---------- 3
・文化財保護啓発事業 ---------- 4
・生活館、生活改善センター及び多目的集会施設管理運営事業 ---------- 5
・鏡さわやか農園管理運営事業 ---------- 6
・県民体育祭事業 ---------- 7
・市民体育祭事業 ---------- 8
・ふるさと納税事業 ---------- 9
・市内一円林道新設改良事業 ---------- 10
・自治基本条例策定事業 ---------- 11
・「笑顔 de あいさつ日本一運動」推進事業 ---------- 12
・防災行政無線整備事業 ---------- 13
・防犯活動推進事業 ---------- 14
・観光漁業事業 ---------- 15
・郡市対抗熊日駅伝・熊日郡市対抗女子駅伝事業 ---------- 16
・校区対抗駅伝競走事業 ---------- 17
・障がい児保育事業 ---------- 18
・八代市母子寡婦福祉連合会補助金事業 ---------- 19
・乳幼児医療費助成事業 ---------- 20

１　最終評価とは

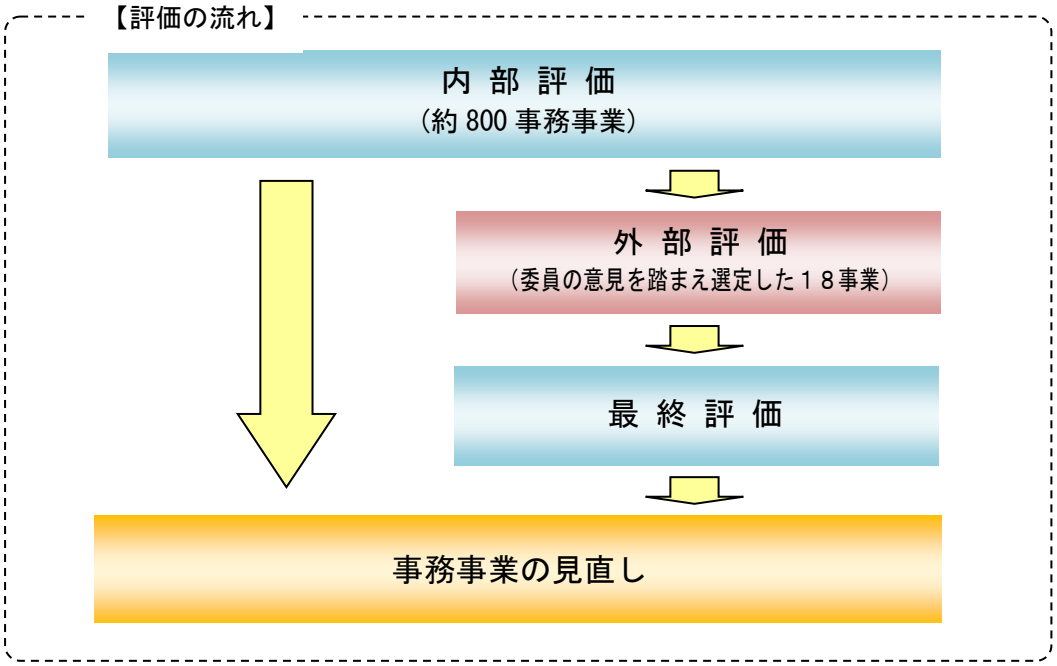
内部評価を実施した事務事業の中から、八代市行政評価外部評価委員会委員の意見を踏まえて選定した１８事務事業について、平成２５年１０月２０日、１１月１０日及び１１月２４日の３日間、外部評価委員会班会議を開催し、市民委員の皆様に「外部評価」を行なっていただきました。

この外部評価の結果を受けて、まずは事務事業を所管する課かいが対応方針を整理しました。その後、八代市行財政改革推進本部（本部長は市長）において、外部評価の結果及び課かいが整理した対応方針の内容を踏まえて、それぞれの事務事業を今後、どのように展開していくのかという基本的な考え方を審議する「最終評価」を行ない最終的な評価及び対応方針を決定しました。

（評価の区分）

ア　不要、廃止等	
イ　民間による実施	
市による実施	ウ　民間委託の拡大及び市民等との協働化等
	エ　要改善
	オ　現行どおり
	カ　規模拡充

なお、事務事業によっては、市民生活への影響なども考慮し、複数年かけてその見直しに取り組む場合もあります。そのため、すべての事務事業が直ちに、対応方針のように見直しがされるものではありませんので、予めご理解ください。



２　外部評価結果と最終評価結果の状況

（１）結果一覧

（単位：事務事業数）

外部評価（外部評価委員会）		最終評価（行財政改革推進本部）	
評価区分	結果数	評価区分	結果数
不要（廃止）	0	不要（廃止）	0
民間実施	0	民間実施	0
市（民間委託拡大・市民協働化）	2	市（民間委託拡大・市民協働化）	2
市（要改善）	5	市（要改善）	5
市（現行どおり）	5	市（現行どおり）	5
市（規模拡充）	6	市（規模拡充）	6

（２）結果内訳

No.	事務事業名	担当課	外部評価結果	最終評価結果
1	スポーツ拠点づくり推進事業	いきいきスポーツ課	市(規模拡充)	市(規模拡充)
2	文化財保護啓発事業	文化まちづくり課	市(要改善)	市(要改善)
3	生活館、生活改善センター及び多目的集会施設管理運営事業	坂本農林水産事務所	市(要改善)	市(要改善)
4	鏡さわやか農園管理運営事業	鏡農林水産事務所	市(規模拡充)	市(現行どおり)
5	県民体育祭事業	いきいきスポーツ課	市(現行どおり)	市(現行どおり)
6	市民体育祭事業	いきいきスポーツ課	市(規模拡充)	市(規模拡充)
7	ふるさと納税事業	財政課	市(要改善)	市(要改善)
8	市内一円林道新設改良事業	水産林務課	市(現行どおり)	市(現行どおり)
9	自治基本条例策定事業	市民活動支援課	市(現行どおり)	市(現行どおり)
10	「笑顔 de あいさつ日本一運動」推進事業	企画政策課	市(民間委託拡大・市民協働化)	市(民間委託拡大・市民協働化)
11	防災行政無線整備事業	防災安全課	市(規模拡充)	市(規模拡充)
12	防犯活動推進事業	防災安全課	市(現行どおり)	市(現行どおり)
13	観光漁業事業	観光振興課	市(規模拡充)	市(規模拡充)
14	郡市対抗熊日駅伝・熊日郡市対抗女子駅伝事業	いきいきスポーツ課	市(民間委託拡大・市民協働化)	市(民間委託拡大・市民協働化)
15	校区対抗駅伝競走事業	いきいきスポーツ課	市(要改善)	市(要改善)
16	障がい児保育事業	こども未来課	市(規模拡充)	市(規模拡充)
17	八代市母子寡婦福祉連合会補助金事業	こども未来課	市(要改善)	市(要改善)
18	乳幼児医療費助成事業	こども未来課	市(現行どおり)	市(規模拡充)

３　行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
1	200	スポーツ拠点づくり推進事業 市民協働部 いきいきスポーツ課 〈 Ａ班 〉	市（規模拡充）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
				1	市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める	●体協に委託し、市としてはバックアップする位置づけが良いと思う。
						1	②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
					市（要改善）		①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
							⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
							⑦その他	
				3	市（現行どおり）	3	①現行どおり	●国や民間団体と連携され有効的に運営されているから。 ●本大会に参加した本市の小学生が、その後、どのように良い影響を受け成長しているかの追跡・報告的なうれしい情報も知りたい。 ●優秀なバドミントン選手を輩出しており、競技人口の拡大にも貢献している。また、経済効果もはかられている。 ●スポーツ振興及び経済効果面でも、充分な効果を上げており、現行どおりに進めてほしい。 ●子供達を屋内でのゲームから、屋外でのスポーツに導くためにも、スポーツ（特に子供）を大いに振興すべきと考える。
				3	市（規模拡充）	3	①事業規模の拡充	●青少年スポーツ規模拡充 ●ＡＢＣ大会の経験をもとに選手強化、施設充実に努める。 ●スポーツイベントの集客力は大きい。波及効果は大である ●バドミントンスポーツの充実をさらに推進することによって、地域の活性化がさらに進められる。 ●7年後の東京オリンピックを目指す上でも、拡充が望まれる。

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（規模拡充）	一流選手の模範試合や全国選抜選手強化合宿における八代市選手参加枠の拡充などを図り、より一層の競技力を向上させる取り組みを関係団体と協議する。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
2	233	文化財保護啓発事業 市民協働部 文化まちづくり課 〈 Ａ班 〉	市（要改善）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
				1	民間実施		①行政の役割終了	●ＮＰＯ法人への委託
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
						1	④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
				2	市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める	●出前講座、史跡案内のみ民間委託。 ●予算をもう少し上げてはどうか。 ●市民に対しては、文化財の啓発活動は浸透していないように思われる。 ●市外の人にも啓発する事を考えてほしい。 ●現在の啓発事業の充実のために、史跡めぐり、出前講座の内容や他の啓発方法を見直す必要がある。 ●民間委託できる部分は、積極的に委託すべきである。
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
						1	③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
						1	⑤その他	
				3	市（要改善）	1	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●史跡めぐり、出前講座ともに市報等で積極的にＰＲすべき ●小中学校のいずれかで、史跡めぐりは、必修化すべき。 ●市民に八代市の文化財について知ってもらうことは、市民の市への愛着・誇りを持つ意味において大切なこと。 ●啓発から周知・保護を多くの市民が理解し協力するまでの工夫が必要と思われる。 ●広報・啓発事業の見直し、ボランティア、民間活用化 ●伝承行事の掘起しと報道
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						3	⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
							⑦その他	
					市（現行どおり）		①現行どおり	
				1	市（規模拡充）	1	①事業規模の拡充	●観光課との連携をとり、八代市のアピールに取り組んでもらいたい。 ●有償ガイド（ボランティア）の育成※無償では、ボランティアの拡大・育成をはかるのは困難である。市がやっていることの肩代わりを無償ではいかがなものか。

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（要改善）	◆市報、市のホームページ、エフエムやつしろなどのマスメディアを活用し、文化財のPRに努めていくとともに、史跡めぐりや出前講座等の周知を図る。 ◆職員研修の充実、史跡案内者養成講座等を実施することにより、市職員・市民の中に史跡案内ができる人材を増やし、史跡めぐり等のより一層の充実を図る。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
3	456	生活館、生活改善センター及び多目的集会施設管理運営事業 農林水産部 坂本農林水産事務所 〈 A班 〉	市（要改善）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
				1	市(民間委託拡大・市民協働化)	1	①民間委託の方が事業効果を高める	●サービス業で運営されていない。 ●受益者負担に不公平あり。 ●使用、利用料の見直し、将来の運営管理の検討
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
						1	④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				6	市（要改善）	3	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●コスト面の見直しを図るべきである。 ●施設利用のあり方を検討すべきである。 ●八代市の施設として、基本から活用、利用のあり方を見直す必要がある。 ●使用料について見直す必要がある。他地域との比較、そして、地域の特殊事業を考慮して、営利事業については、特に見直すべきである。 ●生活館の使用について、収益がある場合は使用料を上げるべき。 ●使用料見直し、市民ニーズの見直し。 ●使用料の見直しが必要。特に、光熱水費の原価代は徴収してもらいたい。 ●原則、施設の無償貸与が望ましい（地域づくり協議会等へ）が、辺地への支援との折合を考えてもらいたい。
							②事業規模の縮小	
						2	③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						4	⑤事業の効率化	
						2	⑥執行体制の見直し	
							⑦その他	
					市（現行どおり）		①現行どおり	
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（要改善）	施設の利用については、PR活動等を実施し、地域活動に密着した施設の活用を促進する。また、使用料について、設備等の利用実態を検証するなど、現状をふまえた施設の利用方法等を見直す。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
4	454	鏡さわやか農園管理運営事業 農林水産部 鏡農林水産事務所 〈 B班 〉	市（規模拡充）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
					市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める	
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				2	市（要改善）		①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●一般財源からの支出が1万円程度であり、目的を効率的に達成している事業であるが、さらに、受益者負担（200円程度）で一般財源からの支出を無くす方向が望まれる。 ●中期的な事業計画案が必要 ●耕運機の更新等が必要になるのでは。 ●契約等の見直しは慎重に、全て丸抱えは止めてもらいたい。経費がかかるものは別途収受を明記。安直にならないように。 ●改革改善内容の精査を。 ●いい事業と思います。ただ、耕運機に関しては機械である以上、燃料と定期点検（メンテナンス）、修理費が出てくるのは必定、利用者が都度、負担すべき。例）1日〇〇〇円、半日〇〇〇円等（コピー機やレンタカーのように） ●借地料は、一律に。
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
							⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
						2	⑦その他	
				1	市（現行どおり）	1	①現行どおり	●食の安全安心を求めるためにも、大事な事業と考えます。農業体験も含めて。
				3	市（規模拡充）	3	①事業規模の拡充	●現在の契約状況を聞くと、複数年に渡って、耕作している方が多く、好評を呈していることが伺える。これから、団塊世代の退職者が耕作したいとの要望が多くなることが推測されるので、旧八代市内にも設けてもらいたい。 ●高齢者社会となり、高齢で遊休者のために役立たせる。 ●新たに拡充する時の鏡がモデルとなる。 ●市の一般財源を出さずに、独立できるように企画する ●民間農園がない中、利用者の趣味や健康づくりにおおいに役立っているものと思われる。さらに、利用者負担引上げのあり方を含めて検討され、事業規模の拡充に努めてもらいたいと思う。

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（現行どおり）	◆今後のニーズを見極めつつ、広報やHP等を活用し、多くの方が利用できるように対応する。 ◆利用者のニーズに合うように、貸付要綱、契約書の見直しを行っていく。 ◆収入と支出については、支出の方が多い状況であり、利用率の向上に努め収入増加を目指す。 ◆耕運機に対する費用の受益者負担については、利用者の負担方法や公平性等の問題が考えられ、精査する必要があるので、今後検討していく。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
5	199	県民体育祭事業 市民協働部 いきいきスポーツ課 〈 Ｂ班 〉	市（現行どおり）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
					市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める	
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				1	市（要改善）		①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●ＮＰＯ体協との連携強化。 ●他類似事業との統合 ●各競技の壁を越えた積極的な交流 ●定例の監督または代表者会議の開催。
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						1	⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
						1	⑦その他	
				5	市（現行どおり）	5	①現行どおり	●良く努力をされております。 ●維持以上を期待いたします。 ●体育協会への委託及び連携は評価できる。 ●委託料には、間接経費を計上すべきであると考える。 ●日常の選手の競技レベルの強化に努力し、良い結果が得られるようにする ●強いチームのあるところには、遠くからでも選手が集まります。スポーツによるまちづくりの観点からも、強い選手・指導者の養成・招聘をされ、県体においても早く総合優勝されるよう期待します。 ●Ｈ２３年度より選手団派遣業務の委託によるコスト削減に取り組まれており、引き続き体育協会との連携により、競技力の向上、優秀選手の育成に努めてください。
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（現行どおり）	NPO法人八代市体育協会と連携を図り、優秀な成績を収めている競技における選手選考方法や強化練習メニュー、競技団体のバックアップ体制など、ノウハウの共有化を進める。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
6	196	市民体育祭事業 市民協働部 いきいきスポーツ課 〈 Ｂ班 〉	市（規模拡充）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない ②目標の達成手段として不適当 ③効果がない（薄い） ④自助努力・自己負担すべき ⑤他の事務事業等と重複 ⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了 ②民業を圧迫している ③サービス水準に違いがあってよい ④民間の方がより効率的・効果的 ⑤その他	
					市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める ②民間委託の方が費用を抑制できる ③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める ④外郭団体等の活用が適当かどうか ⑤その他	
					市（要改善）		①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し ②事業規模の縮小 ③自主財源確保の努力 ④事業実施期限の設定 ⑤事業の効率化 ⑥執行体制の見直し ⑦その他	
				2	市（現行どおり）	2	①現行どおり	●スポーツは健康の源です。今後も努力をお願いします。 ●多くの市民の参加を得て、本事業の目的の達成に努力願います。 ●懸案事項は工夫して進めてください。
				4	市（規模拡充）	4	①事業規模の拡充	●スポーツによるまちづくりものと、広く市民がスポーツに親しみ、誰もが年齢、障がいの有無に関係なく参加できる事業への取り組もうとされている熱意がうかがい知れる内容でした。ぜひ、事業の拡充へつながるようにがんばられてください。 ●スポーツと福祉の融合を計り、誰もが何時でも、気軽にスポーツに親しめる環境の施設の整備充実を期待します。（県南総合運動公園の誘致を希望します。） ●障がい者競技部門の創設は妥当である。ただし、「コスト向上」は最小限になるように工夫してほしい。 ●スポーツ人口の増加・促進のＰＲ ●障がい者参加に向けての早期取組み。（健康促進のためにも良いかと思う。） ●所管が移行になった分、新規での優勝旗作成はちょっと痛いですね。 ●障がい者と一言では表現が難しい、障がいの程度や箇所での振分けが困難と察せられます。一つの競技でも実現できるよう期待します。 ●市報の有効活用

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（規模拡充）	誰もがスポーツに親しむ環境づくりを推進するため、市民体育祭事業の中で障がい者が参加できる種目を取り入れ、将来的には障がい者と健常者が一緒になって競技ができる種目の早期実施に向け、障がい者団体、障がい者スポーツ指導者団体など関係機関、団体と協議を行っていく。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
7	6044	ふるさと納税事業 総務部 財政課 〈 Ａ班 〉	市（要改善）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない ②目標の達成手段として不適当 ③効果がない（薄い） ④自助努力・自己負担すべき ⑤他の事務事業等と重複 ⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了 ②民業を圧迫している ③サービス水準に違いがあってよい ④民間の方がより効率的・効果的 ⑤その他	
					市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める ②民間委託の方が費用を抑制できる ③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める ④外郭団体等の活用が適当かどうか ⑤その他	
				6	市（要改善）	3	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●事業の立案・計画する部局がどこなのか不明確である。 ●ふるさと納税事業に対する説明不足あり。 ●担当部署については、財政課以外からも参加をする。 ●寄附者への結果報告 ●他の部署と連携して使い方を決めてください。 ●寄附者には報告する義務がある。 ●市民にも、ふるさと納税の使われ方を市報等で報告してください。 ●事業のＰＲ方法について、活用の流れや成果の報告の仕方をもっと見直し、創意工夫できる余地があると思われる。 ●市民や寄附者にとってのメリットを明確に周知してもらうと興味関心が高まると思う。 ●寄附者の気持ちを大切にして、寄附者の氏名を市報に掲載し、市報を寄附者に送る。可能であれば、毎月の市報を送付する。 ●ＰＲ誌を東京、大阪等の学校同窓会に送る。できたら説明をする。 ●担当部署の再検討 ●使途をもう少し具体化してはどうか。 ●使い道指定の案内について、この寄附金をどう活かしたいかが明確でない。特に妊婦健診、地球温暖化防止など、この事業になじまないのではないか。
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						3	⑤事業の効率化	
						5	⑥執行体制の見直し	
						1	⑦その他	
					市（現行どおり）		①現行どおり	
				1	市（規模拡充）	1	①事業規模の拡充	●財政課内にふるさと納税プロジェクトを作ること

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（要改善）	◆寄附者への活用事業の報告を実施する。 ◆現在のPRチラシの内容について見直す。 （ふるさと納税と一般寄附の違い、活用事例等） ◆制度開始から5年を経て、歳入強化の側面だけでなく、その活用方法についても工夫が必要と考える。担当部署の再検討も含めて”ふるさと八代”を応援して下さる寄附者の意向を最大限に汲み取る仕組みづくりを考える。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
8	472	市内一円林道新設改良事業 農林水産部 水産林務課 〈 Ａ班 〉	市（現行どおり）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
					市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める	
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				2	市（要改善）	2	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●山林道の整備は全額、公が負担しているのが実態だが、今後、林道が活用され、国産木材が大いに活用されるよう、国県市あわせて努める必要がある。 ●木材の搬出するだけの道路は立派な２車線でなくても良いのではないか。 ●道路をつくるためには、市民が理解できる説明が必要
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						1	⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
							⑦その他	
				4	市（現行どおり）	4	①現行どおり	●林道新設改良事業自体に対する理解を担当者に深めていただきたい。 ●森林の持つ役割を全体にＰＲしてほしい。 ●治山、環境へ利点。大災害時の代替道として価値の見直し ●林業発展向上の役割が必要である。 ●国、県とつながっての事業で、重要な内容である。（地球規模の取り組みにつながっていると思う。）あとは、それをどう市民へ分かりやすく伝えていくかの課題と思う。
				1	市（規模拡充）	1	①事業規模の拡充	●山林のもつ公益的な面（治山、水源涵養、二酸化炭素の吸収）を広報していただき、山道開設事業を拡大していただきたい。

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（現行どおり）	林道は、造林・間伐などの森林整備や木材の搬出には、欠くことのできない道路であり、今後も県との連携を図りながら国県補助事業を最大限活用し取り組んでいく。 また、森林の持つ公益的機能の広報と森林整備や治山・林道事業の必要性についても市のホームページ等を通じて市民の理解を求めていく。 さらに今後は、充実してきた森林資源の活用についても八代産材利用促進事業や原木生産促進事業などの市補助事業を紹介し、木材需要拡大へつながるよう努めていく。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
9	704	自治基本条例策定事業 市民協働部 市民活動支援課 〈 Ａ班 〉	市（現行どおり）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない ②目標の達成手段として不適当 ③効果がない（薄い） ④自助努力・自己負担すべき ⑤他の事務事業等と重複 ⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了 ②民業を圧迫している ③サービス水準に違いがあってよい ④民間の方がより効率的・効果的 ⑤その他	
					市（民間委託拡大・市民協働化）		①民間委託の方が事業効果を高める ②民間委託の方が費用を抑制できる ③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める ④外郭団体等の活用が適当かどうか ⑤その他	
					市（要改善）		①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し ②事業規模の縮小 ③自主財源確保の努力 ④事業実施期限の設定 ⑤事業の効率化 ⑥執行体制の見直し ⑦その他	
				7	市（現行どおり）	7	①現行どおり	●事業の積極的推進を要望したい。特に市民に対するＰＲ等を丁寧に進めてもらいたい。 ●現在は、「これから」という段階なので、今だからこそ丁寧に、具体的な啓発活動に取り組んで頂くことが、市民の安心安全な生活につながり、意欲を持って自治に参加できるようになると思います。市の発展に繋がると思います。 ●策定にあたっては、充分、住民や地域づくり協議会、地域審議会等の意見もくんでもらいたい。 ●むずかしい問題だが、核になる住民自治を住民が活き活きと生きていける方向で進めて欲しい。 ●基本条例早急策定（住民参加型） ●ここに至っては、やり通すのみ、担当職員のケアは欠かせない。 ●市民が理解できる説明が必要である。
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（現行どおり）	自治基本条例は、市民参加や市民との協働の仕組みを整えるため、市民と行政とが一緒になって作り上げていくもので、新たな住民自治によるまちづくりを推進していくためにも必要なものである。しかしながら、条例の必要性が、市民にまだ十分理解されていない状況であることから、まずは講演会や広報等の啓発活動等を行い、その上で市民と一緒になって事業を推進していく。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
10	6048	「笑顔deあいさつ日本一運動」推進事業 企画戦略部 企画政策課 〈 Ｂ班 〉	市（民間委託拡大・市民協働化）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
				5	市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める	●効果が高められたと思えるまで市が力を注ぎ努力すべきである。 ●あいさつは、各家庭、各団体内で行われていることであり、市民等との協働連携が必要である。 ●事業名から日本一を除き、「笑顔deあいさつ事業」とした方が、市民等との協働・連携が図れると考える。 ●人間関係の希薄化の中で「人と人との結びつき」を、あらためて作り上げていく有効な事業と思います。さらに、全市的に周知・取り組む上で、市民等との協働・連携を検討する時期にきたのではないかと思います。 ●当初は、市職員の資質向上を目的に取り組むこととされ、その効果は十分見受けられます。さらに、全市的事業へ展開されたことに間違いはなかったのではないでしょうか。さまざまな意見が多数出されているところに、その結果をみることができると思います。 ●挨拶は、まちを明るくし、ひいては防犯にも繋がる良い活動ではあるが、早急に地域団体や学校ＰＴＡ等へ移管できるよう、取り組む必要があると考えます。 ●あいさつの基本は、あたりまえの事ながら、まずは、家庭・地域から ●市主導だけでは、浸透はむずかしそうだ。 ●協働にしても市からの丸投げ（補助金含む）はしないでほしい。 ●協働になれば当然人件費の削減（専従で１名は不要になるのではないか） ●課またがり等、ここでも横の連携がうまくいっていないようだ。これが連動の妨げの一因にもなっているのではないか。市として一丸となって取り組んでもらいたい。
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
						4	③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
						1	⑤その他	
				2	市（要改善）	1	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●運動の呼びかけと具体的なあいさつの方法（あいさつマニュアル）を市報に掲載して、一般市民への徹底を図ってほしい。 ●マニュアルの内容に家庭の挨拶を追加する。 ●「あいさつマニュアル」をもっと活用する。 ●見直しとして行政に関わる全ての人達の意識向上が必要。他力に頼るのではなく、「心」から取り組めて形にとらわれない方が良い。 ●予算としては、まだ多く減らせると思う。せっかくなら、「日本一」を目指すべき。 ●八代市で行われるイベント毎では、必ずアンケートを取っていくというのも良いと思う。良い悪いでなくて、「あーそういう取り組みしているんだな。」という情報発信には繋がる。
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
						1	④事業実施期限の設定	
						1	⑤事業の効率化	
						1	⑥執行体制の見直し	
							⑦その他	
					市（現行どおり）		①現行どおり	
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（民間委託拡大・市民協働化）	「笑顔deあいさつ日本一運動」が市民運動として広がり定着するように、各校区住民自治協議会や学校、PTA等と連携しながら、市民協働型の事業を展開する。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
11	6027	防災行政無線整備事業 市民協働部 防災安全課 〈 B班 〉	市（規模拡充）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない ②目標の達成手段として不適当 ③効果がない（薄い） ④自助努力・自己負担すべき ⑤他の事務事業等と重複 ⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了 ②民業を圧迫している ③サービス水準に違いがあってよい ④民間の方がより効率的・効果的 ⑤その他	
				1	市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める 1 ②民間委託の方が費用を抑制できる ③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める ④外郭団体等の活用が適当かどうか ⑤その他	●予算はかなり要すると思う。メール配信の徹底又は自販機の利用で企業と連携していくと良いかと思います。
				2	市（要改善）	1 2 1 1 	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し ②事業規模の縮小 ③自主財源確保の努力 ④事業実施期限の設定 ⑤事業の効率化 ⑥執行体制の見直し ⑦その他	●発信者だけの視点でなく受信者の目線で考慮いただきたい。 ●災害弱者の為の効果的な事業の展開 ●整備計画が今年度中とは遅すぎる、いつまでにと期間を区切りスピードをもって対応してほしい。 ●聴覚障害者には、緊急情報配信メールの登録を推進すべきだ。 ●一人暮らしの高齢者への配慮（安心コールセンターとの連携） ●スピーカー放送は聞き取りにくい、サイレンの音の種類を増やしてみてはどうか。 ●市民の生命を守る重要な事業であるから、優先的に予算を取って、早く執行されること。 ●防災無線だけでなくサイレン等を併用した伝達手段を検討してください。
				1	市（現行どおり）		①現行どおり	
				4	市（規模拡充）	4	①事業規模の拡充	●いかに防災情報をスピーディに伝達するかは、市民の生命と財産を守る大きな事業と考えます。そのような点からも十分な予算措置等がなされるように願います。 ●最近発生する災害は、私達の想像を超えるものが多くなっています。そのような中で、市民の安全と財産を守る部署として、日々ご苦労が多いことと思います。 ●不感エリアの解消は急務である。 ●個別受信機設置世帯の拡充策が望まれる。 ●防災無線は、防災情報伝達の有効手段の一つであるが、様々な情報伝達手段を組み合わせた防災情報伝達事業等の体系化が必要である。 ●災害及び防災の情報伝達は早く、正確に、かつ明確性を要するものであり、早急な対応を願います。 ●個別受信機の充実 ●財源の確保が大事

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（規模拡充）	平成25年度実施したスピーカエリア調査結果や防災行政無線の送受信機の不一致、更には地域災害の特徴などを考慮し、平成26年度中に全市的な整備にあたっての指針を策定する。その中で、補完的な伝達手段として、サイレン等を併用し、防災行政無線以外の伝達手段を構築する。また、災害弱者への伝達手段を関係部署と協議し、大災害への対応が的確に図られるよう対応策を積極的に進めていく。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
12	373	防犯活動推進事業 市民協働部 防災安全課 〈 B班 〉	市（現行どおり）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
					市（民間委託拡大・市民協働化）		①民間委託の方が事業効果を高める	
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				3	市（要改善）	2	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	●市民の安全、犯罪防止のため継続すべきであるが、事業費の削減に努力してほしい。 ●「ばんぺいゆ」（配布用資料）の費用は、警察署が半分は負担すべき。 ●市民ニーズをもっと引き出すべき。 ●連携強化を要する。 ●冊子は、一部安価で提供しても良いのではなかろうか。 ●警備会社等との連携委託も必要ではないでしょうか。 ●目配せができるボランティアは増やすべきですね。 ●一度市民目線で多く意識調査してもいいのではないでしょうか。 ●「ばんぺいゆ」という良い資料があるにもかかわらず、ごく一部の人にしか配布されてないのは、いかにも残念 ●警察の生活安全課との連携がもっと密にできないものか、同じ公務員ではないか、犯罪がおきる前の防犯は非常に大事だと思う。 ●決算表の内容の精査を望む。慣例になってしまっていないか。
							②事業規模の縮小	
						1	③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						2	⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
							⑦その他	
				4	市（現行どおり）	4	①現行どおり	●市の事業としては、現行通りが妥当と判断するが、警察署の統合にあわせて、防犯協会の一体化が望まれる。 ●防犯協会への支援金について、競争入札の実施指導なども必要と思われる。 ●自然環境と社会環境の整備は、共に安心・安全に暮らす為に必要不可欠です。今後も防犯に努め、住みたいまち日本一を目指して取り組んでもらいたい。 ●多様化する犯罪に対して、引き続き関係団体等の連携により、犯罪のない安心安全なまちづくりをお願いします。 ●防犯ボランティア、警察、担当部署の連携により、年間犯罪認知件数の減少に繋がっていると思います。みなさまのご努力に感謝申し上げます。 ●市は、協会のチェックを宜しくお願いします。御苦労の多い事と思います。
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（現行どおり）	今後も引き続き警察署をはじめとする関係各機関・団体と連携を図りながら、安全・安心で住みやすい八代市の実現に取り組んで行く。なお、活動団体への補助金の執行については、内容を精査するとともに今後も指導・助言していく。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
13	514	観光漁業事業 商工観光部 観光振興課 〈 Ａ班 〉	市（規模拡充）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない ②目標の達成手段として不適当 ③効果がない（薄い） ④自助努力・自己負担すべき ⑤他の事務事業等と重複 ⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了 ②民業を圧迫している ③サービス水準に違いがあってよい ④民間の方がより効率的・効果的 ⑤その他	
				1	市(民間委託拡大・市民協働化)	1	①民間委託の方が事業効果を高める ②民間委託の方が費用を抑制できる ③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める ④外郭団体等の活用が適当かどうか ⑤その他	○市民の口コミも強い味方になるとも思います。 ○漁協もＰＲの努力が必要だと思う。 ○一人6,000円は高すぎる。
				2	市（要改善）	2 1	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し ②事業規模の縮小 ③自主財源確保の努力 ④事業実施期限の設定 ⑤事業の効率化 ⑥執行体制の見直し ⑦その他	○観光ＰＲの拡大（具体的）、民間との協働事業の拡大 ○舟出浮きも市の観光の柱となるよう、取組を充実する。 ○担当者のサービス業との認識向上
					市（現行どおり）		①現行どおり	
				4	市（規模拡充）	4	①事業規模の拡充	○八代市の海の観光のほとんどを担っている事業であり、事業費の拡大を望みます。 ○情報の発信に工夫をしてもらいたい。 ○組合員の高齢化により、年々減少しているが、後継者の育成も考えてもらいたい。 ○ＰＲ方法等の充実。体験を加える。歴史、文化、産物、温泉と八代市が有するあらゆる素材、資源を組み合わせることにより、事業の拡大が見込めると思う。 ○歴史ある舟出浮きの事業を、単独で運行するのではなく、歴史資産や他の産業、今ある社会資源、教育等と絡ませてもっと発展、盛り上げて行ける余地と可能性があると思われる。 ○予算の面、事業内容の面において、さらなる拡充をお願いしたい。広報の手段について、今後、工夫をしていただきたい。

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（規模拡充）	体験型観光プログラムづくりや情報発信、実践団体の育成等を目的とした総合的な着地型観光推進事業の実施を検討し、舟出浮きなど観光素材の更なる活用促進を図る。 また、市や八代よかとこ宣伝隊など観光関係機関による各種事業においても、舟出浮きのPRに取り組み、利用者の増大を図っていく。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
14	198	郡市対抗熊日駅伝・熊日郡市対抗女子駅伝事業 市民協働部 いきいきスポーツ課 〈 Ａ班 〉	市（民間委託拡大・市民協働化）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない ②目標の達成手段として不適当 ③効果がない（薄い） ④自助努力・自己負担すべき ⑤他の事務事業等と重複 ⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了 ②民業を圧迫している ③サービス水準に違いがあってよい ④民間の方がより効率的・効果的 ⑤その他	
				7	市(民間委託拡大・市民協働化)	3 1 4	①民間委託の方が事業効果を高める ②民間委託の方が費用を抑制できる ③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める ④外郭団体等の活用が適当かどうか ⑤その他	○スポーツであるから参加することに意義があると考えられているが、成果を出すことも重視してもらいたい。 ○体協事業として効果は高まっていくと思いますが、予算も増額の方向で考えてもらいたい。 ○専門団体へのバックアップ強化、育成
					市（要改善）		①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し ②事業規模の縮小 ③自主財源確保の努力 ④事業実施期限の設定 ⑤事業の効率化 ⑥執行体制の見直し ⑦その他	
					市（現行どおり）		①現行どおり	
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（民間委託拡大・市民協働化）	平成25年度からNPO法人八代市体育協会へ委託し、今後、出場選手が最高のコンディションで大会に臨めるよう体制を整えるため、より一層の連携を図る。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
15	195	校区対抗駅伝競走事業 市民協働部 いきいきスポーツ課 〈 Ａ班 〉	市（要改善）	2	不要（廃止）	1	①実施する妥当性がない	○人口規模の違う校区対抗は無理があるのでは。マラソン大会の開催を検討したほうが良い。全国から選手に参加してもらうためには、大会日程が組みにくいだろうが、まずは、市民マラソン大会から考えたらと思います。 ○校区対抗の意義が見い出し難い。 ○駅伝事業は、他にも多くのものが開催されている。
						1	②目標の達成手段として不適当	
						1	③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
						1	⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
					市（民間委託拡大・市民協働化）		①民間委託の方が事業効果を高める	
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				3	市（要改善）	3	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	○全校区が参加できるよう大会内容を見直してください。もう少し事業費を上げても良いと思います。 ○大会に選手として、参加する市民には限りがあるので、様々なスタイルで市民が参加し、本大会に興味・関心が持て、楽しんでもらえる場となるようなＰＲ方法、参加基準の見直しをお願いします。 ○全校区が参加できるように。 ○高齢者（60歳から69歳程度まで）の参加は考えられないか（距離を短縮する等）。
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						1	⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
						1	⑦その他	
				2	市（現行どおり）	2	①現行どおり	○全校区参加への努力は今後も考える必要あり。 ○駅伝の形態を残すか、自由参加のマラソンにするか課題
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（要改善）	全校区が参加できるよう、NPO法人八代市体育協会や各校区体育協会等の関係者と区間距離や年齢制限などの参加基準見直しについて協議を行う。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
16	84	障がい児保育事業 健康福祉部 こども未来課 〈 B班 〉	市（規模拡充）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない	
							②目標の達成手段として不適当	
							③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
					市（民間委託拡大・市民協働化）		①民間委託の方が事業効果を高める	
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				1	市（要改善）	1	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	○事業費としては、大幅な不足と思います。事業としては拡大させないと、後2年後ぐらいで、まだまだこの数字は増加すると思います。 ○今回の資料に記入してある児童数ではないはずですので、何度も触れますが、障がい者支援課との更なる連携が必要と思いますし、大体の数で、20名の園児数で約5人ぐらいは何らかの障がいを持った子がいますので、実態把握に努めていただきたいと思います。
							②事業規模の縮小	
							③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
							⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
						1	⑦その他	
				3	市（現行どおり）	3	①現行どおり	○障がい児の増加は否めないところであるが、幼児期教育として重要な事業である。 ○障がい者支援課やはつらつ健康課との連携強化を望む。 ○申請方法の見直しの検討はないのでしょうか。予定での申請では2度手間ではないでしょうか（3/31締め、4月末日まで申請、5月中に確認、6月補助金振込み等）事務作業の効率化も再考してみられては。 ○世の中は、現在、障がいを持つ者とこれから障がいが出る者で構成されていると言います。幼少期から共生の環境に身を置く事の大切さを感じます。 ○大変ご苦労されていると思います。今後も予算の確保等に努めていただきたい。
				3	市（規模拡充）	3	①事業規模の拡充	○弱者を助ける福祉の精神から、予算の拡大に努力して、金額を増やしてほしい。少なくとも県内での最下位からは脱却してほしい。 ○基準単価の引上げは、止むをえない。設備整備に対する助成を別項目で設けるべきである。ただし、総事業費の大幅増とならないように、一定水準（5%～10%）にとどめる必要がある。 ○障がいを有する児童が、障がいを有しない児童と集団生活の中で情緒形成や発達を図る上でも、保育体制の充実を図るための、さらなる予算措置をお願いしたい。

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（規模拡充）	補助単価の見直しについては、障がい児保育を実施する保育所の保育士加配状況や総事業費の推移、他自治体の補助単価の状況を見ながら検討を行う。また、これまで以上に関係課と密に連携を図り、障がい児保育の推進に努める。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
17	19	八代市母子寡婦福祉連合会補助金事業 健康福祉部 こども未来課 〈 Ｂ班 〉	市（要改善）	1	不要（廃止）		①実施する妥当性がない	○社協等の別の助成金の範囲で活動してもらいたい。 ○会員の数を増やして、効果的な活動をしてもらいたい。
						1	②目標の達成手段として不適当	
						1	③効果がない（薄い）	
							④自助努力・自己負担すべき	
							⑤他の事務事業等と重複	
							⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了	
							②民業を圧迫している	
							③サービス水準に違いがあってよい	
							④民間の方がより効率的・効果的	
							⑤その他	
					市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める	
							②民間委託の方が費用を抑制できる	
							③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める	
							④外郭団体等の活用が適当かどうか	
							⑤その他	
				6	市（要改善）	4	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し	○支出が大会参加費等の交通費に偏っているが、交通費への補助は一部に止めるべきである。自主事業へ目的化した補助制度が望まれる。 ○事業目的に対する補助金交付の必要性は十分理解できます。しかし、より事業目的を達成させるべき事業内容が乏しいといわざるを得ません。現状であれば、各事業項目に対して、委託方式への変更としても良いのではないかと思います。現行での補助金額は大きすぎると考えます。 ○連合会への入会割合が非常に少ない。いわば、一部の人の集まりに対する補助はいかがなものか。 ○補助の対象を独自事業のみに絞るべきではないか。 ○市の指導強化を願いたい。もっと市が関わってください。 ○同じ金額を使うなら母子会に現金助成するのではなくて、市の方で加入率を上げるためにＰＲ、啓蒙活動へ向けたほうが良いと思います。 ○母子会独自での会議だけでなく、広く市民に周知していくべきだと思います。父子家庭への呼びかけも急務かと思います。 ○母子会自体の加入活動の促進、補助金の削減を望む。 ○母子連合会からの決算報告書の精査は必須 ○大会や研修への参加者の旅費、その他に関しては、丸がかえの廃止。参加者には、ある程度の自己負担が必要
						2	②事業規模の縮小	
						2	③自主財源確保の努力	
							④事業実施期限の設定	
						1	⑤事業の効率化	
							⑥執行体制の見直し	
						1	⑦その他	
					市（現行どおり）		①現行どおり	
					市（規模拡充）		①事業規模の拡充	

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（要改善）	母子寡婦福祉連合会に対し、会員加入の促進、事業の見直し、自主事業の拡充等について、助言を行うとともに、市としても団体が行う会員の加入促進の広報・周知について、協力を行う。また、活動事業や収支決算等の精査を行い、事業内容に見合う補助金のあり方を検討する。

行政評価外部評価委員会の評価結果及び最終評価結果（事業別）

連番	評価票No.	事務事業名 担当部課 班名	評価結果	外部評価委員の個別評価				
				評価		視点		理由・コメント・改善方法等
				人数	区分	延数	区分	
18	26	乳幼児医療費助成事業 健康福祉部 こども未来課 〈 Ｂ班 〉	市（現行どおり）		不要（廃止）		①実施する妥当性がない ②目標の達成手段として不適当 ③効果がない（薄い） ④自助努力・自己負担すべき ⑤他の事務事業等と重複 ⑥その他	
					民間実施		①行政の役割終了 ②民業を圧迫している ③サービス水準に違いがあってよい ④民間の方がより効率的・効果的 ⑤その他	
					市(民間委託拡大・市民協働化)		①民間委託の方が事業効果を高める ②民間委託の方が費用を抑制できる ③市民等との協働・連携の方が事業効果を高める ④外郭団体等の活用が適当かどうか ⑤その他	
				2	市（要改善）	2 1	①事業内容（市民ニーズ・目標・手段等）の見直し ②事業規模の縮小 ③自主財源確保の努力 ④事業実施期限の設定 ⑤事業の効率化 ⑥執行体制の見直し ⑦その他	○ニーズの見直しを行い財源確保の努力が必要 ○子育て世代は、当然、幅広く中3ぐらいまで望むだろうが、一部自己負担は、取組として必要かと思います。 ○福祉は大事だが、全額無料では財源がおぼつかない。小学生からは一部自己負担があってもいいのではないか。
				4	市（現行どおり）	4	①現行どおり	○子育て支援等の視点では必要と思います。より内容を充実させることも理解できます。しかし、対象年齢の拡大は、市の負担も大きくなり、財政に及ぼす影響は少なくないと思います。全額を市が負担するのではなく、自己負担の設定とあわせて行うことで、持続可能な事業となるのではないかと思います。 ○現在の市の財政事情から考えると、これ以上の拡大は難しいと思う。この程度で歯止めをかけるべき。 ○福祉は、一旦拡大すると後戻りは難しい。 ○Ｈ２５年１０月に対象年齢を９歳まで拡大したばかりであり、当面、現行どおりと判断する。 ○年齢を上げるとすれば、一部負担すべきである。
				1	市（規模拡充）	1	①事業規模の拡充	○子供は国、地域の宝です。体力がつけば病気も少なくなると思います。一部負担も含めて、６年生までの拡大により、少子化が少しでも改善できれば望外の幸です。

※個別評価が同数の場合は、班長採決

対応方針の区分	対 応 方 針 等
市（規模拡充）	本市の少子高齢化に伴う人口減少が進む中、少子化対策・子育て支援の充実は、喫緊の課題である。特にこどもが安心・安全に医療を受けることができる環境の整備は大変重要である。そのため、財政状況を考慮しながら、段階的な対象年齢の拡大を目指す。